

市議会 6月定例会

行政報告

市議会六月定例会が六月一日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

目標人口は6万6千人

第4次大館市総合開発計画

二十一世紀の市の指針となる第4次大館市総合開発計画の策定にあたっては、市民の皆さんの幅広い意見を反映したいとの趣旨から、三月に市民四十人による市民懇談会を設置し、第一回目の全体会を行いました。その後、五月には二回目として五つの部会ごとに懇談



会を開催し、市の将来人口などの基本フレームを示しました。

目標人口については、平成七年国勢調査を基に、Uターン率や転入人口などの要因を考慮し、十年後である二〇一〇年の人口を推計したもので、ほぼ現状維持となる六万六千人としました。

それぞれの部会とも活発な審議がなされ、提言された事項については、庁内の策定会議で検討し、その結果を次回の懇談会の各部会で審議していただく予定となっています。

ごみ処理施設は PFI方式で整備

大館広域圏におけるごみ処理施設の整備については、これまで隣接する他広域との共同処理や県北部四広域圏でのRDF（固形化燃料）による施設整備の実現に努力してきましたが、残念ながら話し



合いが不調に終わり、これらの方法による施設整備については断念することになりました。

このことから、大館周辺広域市町村圏組合では、ごみ処理施設の更新は大館広域圏が単独で行うことにしました。そして「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」、いわゆるPFI法が昨年九月から施行されたことから、PFI方式による施設整備を行うことで財政負担の軽減、公共サービスの効率化などが期待できるものと判断し、この方式による施設整備計画の策定を進めています。なおこの事業が国の認可を得ますと、廃棄物処理施設としては全国で最初のPFI方式による国庫補助事業となる見込みです。

取り組んでいます 環境マネジメントシステム

昨年七月以来取り組んでおります環境マネジメントシステムの導入は、一月五日に一部運用を、四月三日からは全面運用を開始し、三十三項目にわたる目的・目標の実現による継続的な環境負荷の軽減に取り組んでいます。

また、本市のシステムが国際規格であるISO14001に適合していることの認証の取得、いわゆる第三者認証の取得については、これまで審査登録機関による書類審査と予備審査を受けています。今後は、審査で指摘のあった事項の是正とシステムの継続的な運用を図りながら、七月中旬に予定されている本審査を経て、九月ごろの第三者認証取得に向け、引き続き取り組んでいきますので、ご理解をお願いします。

介護保険制度 順調に推移

四月一日から、全国一斉に施行された介護保険制度の本市の取り組み状況を報告します。

認定状況については、五月二十六日現在の要介護認定申請者数は二千十八人で、そのうち一千八百